

磐 盾

和歌山県立 新宮高等学校同窓会報

第 46 号

平成31年3月1日発行
和歌山県立
新宮高等学校
同 窓 会
新宮市神倉三丁目2番39号

平成三十年度

同窓会総会・講演会・懇親会

盛大に開催される

元プロ野球選手・プロ野球解説者

山崎慎太郎氏(三十七回卒)が記念講演

「野球を通して掴んだ、人生観」

十一月十八日(日)午後五時三十分より、新宮信用金庫五階大ホールにおいて、平成三十年度同窓会総会、



講演会、懇親会が開催された。
総会では、夏山晃一同窓会長、前田成穂校長の挨拶の後、矢熊敏男常任幹事を議長として議事に入った。事務局からの事業報告、会計からの会計報告、監査からの監査報告がなされ、それぞれ承認された。

また、昨日いた友が今日はいない。前の日に首って言われたら、その時点でチームから去らないといけない。監督も同じです。負け始めると、一位でも首です。次の監督がやって来て選手の起用のやり方なんかも全部変わってしまう。そういうのもアメリカならではのことであります。

(新宮高校第三十七回卒業・元プロ野球選手・プロ野球解説者)が「野球を通して掴んだ、人生観」の演題で講演を行った。

(講演内容)
二年目のときにアメリカに留学させてもらいました。最初、練習しない所だなと思いました。でもそうじゃないんです。練習が始まる前にある程度、アップや練習で動くような体を作っておくというのがアメリカ式です。ルーキーリーグに行ったときに、練習が本当に短



いんです。ちよこちよこって動いたら練習始めよう、なんですよ。でも、みんな準備ができています。です。



球を通して掴んだ、人生観」と題しての講演会も開催させていただきました。毎年、関西同窓会は六月頃、関東同窓会は十一月にそれぞれ総会が開催され、同窓会の絆を深めていただいております。本年一月に、六十歳を迎える第二十九回卒業の還暦同窓会にお招きをいただきました。総勢一八四名の皆様が参加され、久しぶりに会う同級生同士の会話で会場は歓喜と熱気に包まれておりました。毎年それぞれの学年で同級会が開催され、交流を深め

球を通して掴んだ、人生観」と題しての講演会も開催させていただきました。毎年、関西同窓会は六月頃、関東同窓会は十一月にそれぞれ総会が開催され、同窓会の絆を深めていただいております。本年一月に、六十歳を迎える第二十九回卒業の還暦同窓会にお招きをいただきました。総勢一八四名の皆様が参加され、久しぶりに会う同級生同士の会話で会場は歓喜と熱気に包まれておりました。毎年それぞれの学年で同級会が開催され、交流を深め

球を通して掴んだ、人生観」と題しての講演会も開催させていただきました。毎年、関西同窓会は六月頃、関東同窓会は十一月にそれぞれ総会が開催され、同窓会の絆を深めていただいております。本年一月に、六十歳を迎える第二十九回卒業の還暦同窓会にお招きをいただきました。総勢一八四名の皆様が参加され、久しぶりに会う同級生同士の会話で会場は歓喜と熱気に包まれておりました。毎年それぞれの学年で同級会が開催され、交流を深め

球を通して掴んだ、人生観」と題しての講演会も開催させていただきました。毎年、関西同窓会は六月頃、関東同窓会は十一月にそれぞれ総会が開催され、同窓会の絆を深めていただいております。本年一月に、六十歳を迎える第二十九回卒業の還暦同窓会にお招きをいただきました。総勢一八四名の皆様が参加され、久しぶりに会う同級生同士の会話で会場は歓喜と熱気に包まれておりました。毎年それぞれの学年で同級会が開催され、交流を深め

ご挨拶

同窓会会長 夏山晃一



同窓会会員の皆様には、ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素は、同窓会活動に対し、絶大なご支援とご協力を賜りますこと、厚く御礼申しあげます。

球を通して掴んだ、人生観」と題しての講演会も開催させていただきました。毎年、関西同窓会は六月頃、関東同窓会は十一月にそれぞれ総会が開催され、同窓会の絆を深めていただいております。本年一月に、六十歳を迎える第二十九回卒業の還暦同窓会にお招きをいただきました。総勢一八四名の皆様が参加され、久しぶりに会う同級生同士の会話で会場は歓喜と熱気に包まれておりました。毎年それぞれの学年で同級会が開催され、交流を深め

球を通して掴んだ、人生観」と題しての講演会も開催させていただきました。毎年、関西同窓会は六月頃、関東同窓会は十一月にそれぞれ総会が開催され、同窓会の絆を深めていただいております。本年一月に、六十歳を迎える第二十九回卒業の還暦同窓会にお招きをいただきました。総勢一八四名の皆様が参加され、久しぶりに会う同級生同士の会話で会場は歓喜と熱気に包まれておりました。毎年それぞれの学年で同級会が開催され、交流を深め

球を通して掴んだ、人生観」と題しての講演会も開催させていただきました。毎年、関西同窓会は六月頃、関東同窓会は十一月にそれぞれ総会が開催され、同窓会の絆を深めていただいております。本年一月に、六十歳を迎える第二十九回卒業の還暦同窓会にお招きをいただきました。総勢一八四名の皆様が参加され、久しぶりに会う同級生同士の会話で会場は歓喜と熱気に包まれておりました。毎年それぞれの学年で同級会が開催され、交流を深め

球を通して掴んだ、人生観」と題しての講演会も開催させていただきました。毎年、関西同窓会は六月頃、関東同窓会は十一月にそれぞれ総会が開催され、同窓会の絆を深めていただいております。本年一月に、六十歳を迎える第二十九回卒業の還暦同窓会にお招きをいただきました。総勢一八四名の皆様が参加され、久しぶりに会う同級生同士の会話で会場は歓喜と熱気に包まれておりました。毎年それぞれの学年で同級会が開催され、交流を深め

というのは年を取ってきた
せいかなくなっていうのもあり
ます。

僕は野球をやっていた中
で、考え方っていうのは、
自分が年を重ねていくこと
にちよつとずつ変わっていま
す。ある程度のところまで
行つて、現役でボンと終
わりますってなつたとして
も、その考えはずつと残つ
ていくものです。変わつて
いくものだし、その考えを
生かせるかどうかっていう
のはプロ野球を辞めてから
の話なんですよね。プロ野
球の中にいるときにはお金
稼ぐことが一番じゃないで
すか。でもそれから解き放
たれたときに、子どもたち
を教える、一般の社会の中
に入っていくってなつたと
きに、プロ野球の中でやっ
てきたこと、感じてきたこ
とというのがどれだけ普段
の生活の中で生かしていけ
るようになるのかを、今、
勉強している状態ですね。



地域から信頼される新高たれ

校長 前田 成穂

同窓会の皆様方には、平
素より本校の教育活動にご
理解とご尽力を賜り、衷心
より御礼申し上げます。

今年、明治維新から数
えて百五十一年目の年にあ
ります。本校は、その明
治維新から三十四年が経つ
た年(一九〇一年)に、こ

こ新宮市(かつての新宮町)
に旧制新宮中学校として創
立し、今年で百十八年目を
むかえる高等学校でありま
す。これまで実業界をはじめ
め医学、芸術、文学、スポ

たり、解説の仕事をやつた
り。本当の社会っていうのは
僕らは分かりません。野
球をやっているやつは野球
バカやからなつて言われて
も仕方がないぐらい、それ
しかやっていない。でも、
今からは、僕らが今まで感
じてきたこと、覚えてきた
ことっていうのを今の子ども
たちにしっかりと返してあげ
ないといけないとは思つて
います。でも聞いてない、分
からないって言われたら悲
しくなります。でも何とか
伝えなければいけないなど
その子たちがある日、突然、
俺はプロ野球選手に本当に
なりたいってなつたときに、
やつとこさ一生懸命にやつ
てくれるのかなと思います。

僕は子どもの頃からプロ
野球は見るものだったので、
概念しかなかったんで、プ
ロ野球選手になりたいとは
一度も思ったことがないで
す。基本的には公務員にな
りたいと思つていたぐらい
なんで。野球じゃなくてバ
レーボールをやりたいなど
か、全然違うことを考えて
いた。でも、そこら辺はう

ちの親はしっかりとしてい
た。きつちりとレールを敷
きましたね。でも実際、そ
れでこんなに長くプロ野球
の世界でやらせてもらつた
わけですから、そういう意
味では自分がしてきた経験
っていうのはこれからも生
かしていきたい。また、子
どもたちに伝え
ていきたい。子
どもたちだけ
ではなく、お父
さんやお母さん
とかにも伝えて
いかなければい
けないことなか
なというふう
に思います。

だから、そ
ういう意味では僕
はまだ人生つて
ここからがある
ので、子どもた
ちと関わりなが
ら、日々勉強し
ながら、考えさ
せられることの
ほうが多いよう
な気がしますけ
ど、でもそれも
勉強だと思つて、

これからのプロ野球の中で
生きてきて培ってきたもの
は教えながら、子どもたち
にも教えられながらやって
いきたいと思つてます。

(拍手)
講演会終了後、小野俊二
新中会理事の挨拶で懇親会
が始まり、荒尾寛同窓会副

会長の司会で同窓生同士が
楽しい時間を過ごした。最
後には、校歌を大合唱して
懇親会は盛会のうちに終了
した。なお、当日の募金活
動に際しましては、多数の
方にご協力いただきました
ありがとうございます。

平成三十年春進路状況	
進学	
◎国立四年制大学	愛媛大学 法文 夜1 大阪府立大学 現代システム科学1 香川大学 創造工1 京都工芸繊維大学 工芸科1 県立広島大学 人間文化1 公立鳥取環境大学 経営1 滋賀大学 教育1 静岡文化芸術大学 デザイン1 鳥根県立大学 総合政策1 下関市立大学 経済2 都留文科大 教養1 徳島大学 理工1 奈良女子大学 生活環境1 兵庫教育大学 学校教育1 福井県立大学 看護福祉1 北海道教育大学 教育1 三重大学 教育1 宮崎公立大学 人文1 山口大学 教育1 横浜市立大学 国際総合科1 琉球大学 教育1 和歌山県立医科大学 保健看護1 和歌山大学 観光3 和歌山大学 経済4 システム工1
◎私立四年制大学	愛知淑徳大学 健康医療科1 藍野大学 医療保健2 青山学院大学 法1 大阪大谷大学 教育3 大阪経済大学 薬1 大阪芸術大学 経営1 大阪産業大学 芸術1 大阪人間科学大学 デザイン工1 岡山理科大学 人間科学1 関西外国語大学 理工1 関西大学 システム理工2 関西福祉科学大学 健康福祉2
◎公立短期大学	三重短期大学 生活2 法経科第二部1
◎私立短期大学	愛知大学短期大学部 ライフデザイン総合1 大阪城南女子短期大学 人間福祉1 大阪成蹊短期大学 栄養1 関西外国語大学短期大学部 英語1 関西女子短期大学 保育3 京都経済短期大学 経営・情報1 滋賀短期大学 ビジネスコミュニケーション3 滋賀文教短期大学 国文1 東京家政大学短期大学部 栄養1 名古屋文化短期大学 生活文化2 びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン1 平安女学院大学短期大学 保育1

インターネットやビ
ッグデータ、人工知能等を
始めとする技術革新やグロ
ーバル化の一層の推進に伴
う産業構造や社会の変化、
就学・就業構造の変化等が
予想されています。こうした
変化に対応する人材を育
成するため、高大接続改革
が行われ、大学入試が二〇
二〇年度から大きく変化する
こととなりました。これ
までの大学入試センター試
験(マークシート方式)か
ら、数・国の一部に記述式
を取り入れた大学入学共通
テストの実施や、英語四技
能(聞く、話す、読む、書
く)の修得が国公立大学の
入学条件となります。また、
二〇二二年度から年次進行
で実施される新学習指導要
領では、「主体的・対話的
で深い学び」を推進し、生徒
の思考力・判断力・表現力
を育成することとなつてお

り、これからの社会では、
個人のプレゼンテーション
力や世界へ向けての発進力
が一層求められることにな
ります。

現在、本校は、各学年五
学級の計十五学級、五九五
名が在籍しています。来年
度の入学定員も五学級で変
わりませんが、今後の新宮
・東牟婁地域の児童生徒数
を鑑みると、近い将来、学
校規模がさらに縮小される
ことが予想されます。本校
は、地域の教育の拠点校と
して地域を担う人材を育成
することが命題であり、多
様化する生徒の進路希望を
実現するため、大学入試改
革にも柔軟に対応する所存
であります。その取組の一
つとして、これまでの六十
五分授業から四十五分授業
に切り替え、週あたりのコ
マ数を増やし、英・数・国
を毎日反復練習できるよう

◎公立短期大学	三重短期大学 生活2 法経科第二部1
◎私立短期大学	愛知大学短期大学部 ライフデザイン総合1 大阪城南女子短期大学 人間福祉1 大阪成蹊短期大学 栄養1 関西外国語大学短期大学部 英語1 関西女子短期大学 保育3 京都経済短期大学 経営・情報1 滋賀短期大学 ビジネスコミュニケーション3 滋賀文教短期大学 国文1 東京家政大学短期大学部 栄養1 名古屋文化短期大学 生活文化2 びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン1 平安女学院大学短期大学 保育1



全日制だより

★平成三十年度スタート

(4/9)新任式・始業式、4/10入学式、4/11対面式) 第六十九回入学式が挙行され、二百名の新入生が希望を胸に入学した。

前田校長は式辞で、リンカーンの言葉「どんなに困難な道でも、やり遂げる意志があれば必ず道は開ける。」を紹介し、「新しい目標を持って挑戦して欲しい。努力した時間が皆さんを成長させてくれる。今日の喜びと感激を忘れず、豊かな高校生活を送れるよう自分をしっかり見つめ、持てる力を存分に発揮して励んでください。」と新入生に語った。

教職員は、前田校長を含め教諭・講師等新たに九名が着任した。

★クラブ紹介(4/12) 新入生に対して、体育・文化の各クラブと同好会の上級生が活動内容の紹介を行った。

★遠足(4/26) クラス単位で貸し切りバスや電車を利用して各地に行き、自然体験や文化体験を交えて実施した。

★前期人権教育LHR(5/2) 一学年「基本的人権と社会における差別問題」二学年「情報化社会の人権」三学年「労働者の人権」

★総体壮行会(5/17) 県高等学校総合体育大会に出場する選手の壮行会を実施した。各クラブの出場選手がユニフォーム姿で登場し、前田校長と由谷生徒会長から激励をうけた。

★前期生徒会役員選挙(5/17) 会 長 三年四組 横山さくら 副会長 三年五組 黒木 葵 三年四組 安間 晴香

★防災避難訓練(5/18) 全校生徒教員で津波に対する避難訓練を実施した。

★教育実習(5/22、6/10) 九名の卒業生が教育実習に取り組んだ。

★県高校総体(5/22、6/11) 十三競技に参加し、各競技で健闘した。弓道部・レスリング部・弓道部・陸上競技部・卓球部・ソフトテニス部・ハンドボール部が近畿大会に出場した。

★情報モラル講座(5/23) LINE(株)オフィシャルインストラクターの樋口孝一氏を講師にお迎えし、一年生全員を対象に「インターネットを使うときに気を付けること、考えること」「楽しいコミュニケーション」を演題に実施した。

★進路講演会(6/29) 大手予備校で長年チューターを務めている安永淑生氏に来ていただき、大学入試の現状・二〇二〇年度大学入試(現高一・二学年対象)の変更点などについて、わかりやすく解説していただいた。

★硬式野球部・軟式野球部・吹奏楽部壮行会(7/4) 三クラブ各々のキャプテン・部長が決意の言葉を述べた。

★クラスマッチ(7/9、10) 男子はバレーボールとサッカー、女子はバレーボールとドッジボールを行った。総合優勝は三年一組であった。

★県警本部長講演会(7/17) 和歌山県警察本部長の宮沢忠孝氏に來校していただき、「現在の犯罪対策など警察における取組について」という演題で講演会を実施した。

★主権者教育・模擬投票体験(7/17、18) 一学年は十七日、二学年は十八日にそれぞれ県選挙管理委員会による出前授業「選挙の大切さを知ろう」を聴いた後、実際の選挙の手順を実際の投票用紙・投票箱を使い体験し理解を深めた。

★夏休み前アセンブリ(7/20) 一学年は十七日、二学年は十八日にそれぞれ県選挙管理委員会による出前授業「選挙の大切さを知ろう」を聴いた後、実際の選挙の手順を実際の投票用紙・投票箱を使い体験し理解を深めた。

★一学年夏季学習セミナー(7/24、26) 百二十二名が三日間、本校教員による特別講座を受講し、発展学習に取り組んだ。

★中学生対象オープンスクール(8/6) 近隣の中学生、二百八十一名が來校し、在校生による学校説明を聴き、その後授業体験、校内施設見学やクラブ見学を行った。

★大学見学会(8/8) 三重大学のオープンキャンパスに、一学年の四十名の生徒が参加し、学部の紹介や授業体験を体験した。

★夏休み明けアセンブリ(8/24) 「カナダからの留学生來校(8/29、11/14)」

★第二十五回彩雲祭(9/7、8) 『平成最後の青春劇』をテーマに、文化クラブや各クラブが趣向を凝らした催しを行った。

★スペインガリシアア州訪問団來校(9/7) スペインからの訪問団が來校し、彩雲祭のステージ発表を観覧し、親交を深めた。

★学期交代式(10/5) 後期生徒会役員選挙(10/5)

★学級会 長 二年五組 古根川 健 副会長 二年三組 辻 薫 第七十一回体育祭(10/12) 全学年が五つのブロックに分かれて、演技や競技を行った。総合優勝は三年三組・二年三組・一年三組の青ブロックであった。

★高校生防災スクール(10/19) 一学年の生徒全員が体育館に集合し、前半はケーススタディを取り入れた発表を行ない、後半は八つの分科会に分かれ、前半の発表を見て学んだことを実際に体験した。地域の防災について考え、互いに防災意識を高め知識を深めることができた。

★人権全体鑑賞会(10/24) 二色の声をもつ歌姫「悠以」さんをお迎えして、「自分らしく生きる」をテーマに実施した。

★防災避難訓練(11/1) 全校生徒と全教職員で、潮岬沖を震源とする大地震が発生したという想定で屋上への避難訓練を実施した。けが人の搬送訓練も行った。

★学校開放月間(11/1、8) 授業やクラブ活動の公開、書道部・美術部の作品展示、中高連絡協議会、一・二学年合同総学ポスター発表会等を実施した。

★二年後期人権教育LHR(11/7) 「障がいのある人の人権」

★三年後期人権教育LHR(11/7) 「障がいのある人の人権」

★総合的な学習の時間一、二学年合同ポスター発表会(11/16) 「共生 国際社会のリーダーとして」をテーマに、総合的な学習の時間で取り組んでいる探究活動の成果発表を行った。

★高校生防災スクール(11/17) 一学年全員が各々のテーマを持って、調べ学習やフィールドワークを行い、市役所や地域の方々と連携して、防災に関する意識や知識を深めるために実施した。

★先輩が先生に講演会(11/19) 昭和六十年に本校を卒業した元プロ野球選手である山崎慎太郎氏に來校していただき、「野球を通して掴んだ、人生観」という演題で講演会を実施した。

★一年後期人権教育LHR(11/21) 「同和問題に学ぶ」

★研修旅行(12/8、11) 二学年全員で名古屋・金沢・京都・大阪を三泊四日で巡る日程で実施した。総合的な学習とも関連づけた旅行であった。

★冬休み前アセンブリ(12/26) 新宮市消防本部の担当者講師に迎えて実施(火災避難訓練、煙避難、消火器訓練、DVD鑑賞)

★冬休み明けアセンブリ(1/7) 題名「学び舎」その美しい場所」発表 一年生 中塩省三

★大学入試センター試験(1/19、20) 五十四名が受験した。

★ロングハイキング(2/7) 一学年全員、同窓生、地域の方々の参加で実施した。

★平成三十一年度県立高等学校入学者選抜試験(3/11) ★平成三十一年度修了式(3/22)

定時制だより

★入学式(4/10)

新入生は、男子八名、女子四名 計十二名 在籍は、一年十二名、二年九名、三年六名、四年十一名 計三十八名(平成三十年五月一日現在)

武庫川女子大学短期大学部 幼児教育3

大阪調理製菓専門学校 製菓総合本科1

大阪動物専門学校天王寺校 動物管理1

大阪ビジネスカレッジ専門学校 マスコミ1

大阪法律専門学校 会計1

大阪法律専門学校 行政8

警察官・消防官・自衛官1

法律社会2

法律ビジネス2

昼間ホテル1

大原簿記情報法律姫路校 公務員事務系1

大原簿記法律&美容製菓専門学校和歌山校 市役所コース1

関西美容専門学校 美容1

京都IT会計専門学校 法律学科公務員初級1

辻製菓専門学校 製菓技術マネジメント1

東京動物専門学校 動物管理科1

東京ベルエポック美容専門学校 ヘアメイク1

東京法律専門学校名古屋校 法律ビジネス1

中日本航空専門学校 エアポートサービス2

日本電子専門学校 コンピュータグラフィックス1

「刺し子のクッション」二年坂井優斗

☆保護者・OB交流球技大会(11/16)

保護者や卒業生が來校し、生徒とソフトバレーボールを行った。熱戦が繰り広げられ、保護者・OBチームが優勝、二年生チームが準優勝に輝いた。

★先輩が先生講演会(11/22) 定時制OBの川上大斗さんを迎えて実施

★薬物乱用防止講話(12/19) 薬物の種類や危険性、被害にあわなないための行動や対応について学習とDVD「分岐点」を鑑賞

★防災スクール(12/20) DVD鑑賞、炊き出し訓練を実施

☆ボーリング大会(2/20)

☆第六十九回卒業証書授与式(3/1)

ホスピタリティツーリズム専門学校 テーマパーク1

和歌山県警 和歌山県警事務職

勝浦消防 太地町役場

串本消防 大阪府警

新宮市役所

西日本旅客鉄道 紀州エンジニアリング株式会社1

わたらせ温泉株式会社 1

トヨタ自動車株式会社 2

新日鐵住金株式会社 和歌山製鐵所 1

日本郵便株式会社 1

北越紀州製紙株式会社 紀州工場 1

水ing株式会社 1

新宮市立医療センター 新宮信用金庫 第三銀行 香梅堂 1

公務員

就職

保護者・OB交流球技大会



「刺し子のクッション」小林令奈

平成30年度体育クラブ成績

▶インターハイ出場

レスリング部 60kg級＝速水 勝太郎(2-4)
弓道部 女子個人＝竹内裕賀(2-4)

▶全国選抜大会

レスリング部 60kg級＝速水 勝太郎(2-4)、71kg級＝寺地智睦(1-1)
卓球部 尾中凜音(2-3)
弓道部 男子個人＝塚 大地(2-3)
空手道部 男子団体形

●全国高校生グレコローマンスタイルレスリング選手権大会出場

レスリング部 60kg級＝速水 勝太郎(2-4)

▶近畿大会出場

レスリング部 (谷口 宗 速水 勝太郎 小林風斗 寺地智睦) 団体＝ベスト8、個人＝51kg級 谷口 宗、フリースタイル 60kg級＝速水 勝太郎 3位、グレコローマンズ 65kg級＝小林風斗 3位
陸上競技部 女子4×100mR 4×400mR＝山田(2年) 久司(2年) 小淵(2年) 辻(2年)、女子100m・100mハードル＝久司侑佳(2年)、女子400m＝辻 薫乃(2年) 小淵菜々子(2年)

ハンドボール部 女子

▶近畿選抜大会

レスリング部 (谷口 宗 速水 勝太郎 小林風斗 寺地智睦) 個人＝60kg級 速水 勝太郎 優勝 大会最優秀選手賞、71kg級 寺地智睦 第3位

卓球部 男子団体 女子団体、ダブルス 男子＝風間(2-3)・南(2-5) 岡崎(3-4)・下浦(3-3)、女子＝上山(3-2)・杉山(3-2) 尾崎(2-5)・尾中(2-3)、シングルス 男子＝風間、岡崎 下浦、清水、女子＝上山、杉山 尾崎、尾中

ソフトテニス部 男子団体 女子団体

バドミントン部 男子ダブルス＝内野(2-1)・大江(1-2)、女子ダブルス＝清水(2-1)・速水(2-4)、花田(2-3)・南(2-1)

▶近畿ユース選手権

陸上競技部 2年女子100m・100mハードル＝久司侑佳、2年女子200m＝辻 薫乃、2年女子走り幅跳び＝柏木未有、女子4×100mR・4×400mR＝山田(2年) 久司(2年) 柏木(2年) 辻(2年)

▶県予選結果

陸上競技部 県総体 女子4×100mR＝準優勝 山田(2年) 久司(2年) 小淵(2年) 辻(2年) 49秒82、女子4×400mR＝第4位 山田(2年) 久司(2年) 小淵(2年) 辻(2年) 4分5秒59、女子100mハードル＝準優勝 久司侑佳(2年) 15秒10、女子100m＝第5位 久司侑佳(2年) 13秒03 以上**近畿インターハイ出場** 6月14日～17日(滋賀県)、女子200m＝7位 辻 薫乃(2年) 26秒99、女子400m＝8位 辻 薫乃(2年) 62秒95、男子三段跳び＝8位 中垣内 佑(2年) 12m50、女子トラック＝総合5位
和歌山県選手権(7月21日・22日 紀三井寺公園陸上競技場) 女子4×100mR＝第4位 山田(2年)久司(2年)小淵(2年)辻(2年) 50秒82、女子4×400mR＝第4位 山田(2年) 久司(2年) 小淵(2年) 辻(2年) 4分11秒44、女子100mハードル＝第4位 久司侑佳(2年) 16秒32、女子400m＝第5位 辻 薫乃(2年) 62秒17、第6位 小淵菜々子(2年) 63秒63 以上**近畿選手権出場**和歌山県高校ユース陸上競技対校選手権大会(8月17日～19日 紀三井寺公園陸上競技場) 2年女子総合 準優勝 小淵・柏木・山田・辻・久司、2年女子100mハードル＝優勝 久司侑佳 15秒03、2年女子100m＝第3位 久司侑佳 12秒64、2年女子200m＝第3位 辻 薫乃 27秒07、2年女子走り幅跳び＝準優勝 柏木未有 4m81、女子4×100mR＝第6位 山田(2年) 久司(2年) 柏木(2年) 辻(2年) 51秒79、女子4×400mR＝第4位 山田(2年)久司(2年)柏木(2年)辻(2年)4分11秒55 以上**近畿ユース選手権大会出場** 2年女子100m＝第4位 山田萌花 13秒02、2年女子200m＝第5位 山田萌花 28秒04、2年女子400m＝第5位 辻 薫乃、第6位 小淵菜々子 機械不具合により記録なし、2年女子走高跳び＝第6位 柏木未有 1m30、2年男子三段跳び＝第5位 中垣内 祐 12m50

硬式野球部 第100回全国高等学校野球選手権記念和歌山大会 2回戦 対橋本高校 3対2 勝、3回戦 対 紀北工業高校 3対5 負
平成30年度 県下高校野球新人戦 2回戦 対 桐蔭高校 1対2 負 平成30年度 秋季近畿地区高等学校野球大会 県一次予選 2回戦 対 桐蔭高校 4対7 負

軟式野球部 平成30年度 春季近畿地区高等学校軟式野球大会 県予選 準決勝 対向陽高 2対3(延長13回タイブレーク)敗退
ラグビー部 アシックスカップ2018第5回全国高等学校7人制ラグビーフットボール大会和歌山県大会 予選リーグ 対 那賀 19－17 勝利 対 星林 21－29 負け 対 熊野 5－33 負け、2位トナメント 対 和歌山北 17－5 勝利 対 田辺高校 0－43 負け **春季選手権大会** 2回戦 対 和歌山工業 0－98 負け ベスト8 **選手権大会** 1回戦 対 新翔高校 56－3 勝利、準々決勝 対 近大和歌山 3－106 敗戦 ベスト8 **新人戦** 準々決勝 対 熊野高校 14－57 敗戦 ベスト8

サッカー部 平成30年度 和歌山県高等学校総合体育大会サッカー競技の部 3回戦 対 紀北工業高校 2－0 勝利、準々決勝 対 和歌山北高校 0－6 敗退 ベスト8 第97回全国高等学校サッカー選手権大会 和歌山大会 3回戦 対 那賀高校 1－0 勝利、準々決勝 対 初芝橋本高校 0－2 敗退 ベスト8

レスリング部 平成30年度 和歌山県高等学校総合体育大会(レスリング競技) 学校対抗戦 準優勝、個人対抗戦 51kg級 谷口 宗 3位、60kg級 速水 勝太郎 優勝、65kg級 小林風斗 3位、寺地智睦 4位 優勝者は**インターハイ出場** 2位までは**全国グレコローマン選手権大会出場** 4位までは**近畿大会出場** 平成30年度 和歌山県高等学校 レスリング選手権大会 フリースタイル 60kg級 速水 勝太郎 2位、65kg級 小林風斗 3位、71kg級 寺地智睦 3位、グレコローマンスタイル 60kg級 速水 勝太郎 2位、65kg級 小林風斗 3位 平成30年度 和歌山県高等学校 レスリング新人大会 学校対抗戦 3位、個人対抗戦 51kg級 谷口 宗 3位、60kg級 速水 勝太郎 2位、65kg級 小林風斗 3位、71kg級 寺地智睦 3位 個人対抗戦3位までが**近畿ブロック予選会に出場** 平成30年度 JOC杯全国予選 近畿大会 ジュニアの部

ハンドボール部 女子＝1回戦 和商 23－18 新宮 敗退、敗者戦 2回戦 新宮 24－10 那賀 勝利、決勝 新宮 22－11 貴志川 勝利 3位入賞 **近畿大会出場** 決定 新人大会結果報告 5チーム総当たりリーグ戦 4位 対粉河戦 7－13 敗北 対和商戦 30－14 勝利 対高野山戦 9－34 敗北 対那賀戦 6－20 敗北

バスケットボール部 男子＝平成30年度 和歌山県高等学校総合体育大会バスケットボール競技会 3回戦敗退 ベスト16 ②対貴志川 61-48 勝利 ③対紀北工業 56-70 敗退 平成30年度 和歌山県高等学校バスケットボール新人大会紀南地区予選 第2位 ①初戦 対新翔 82-40 勝利 ②準決勝 対田辺工業 55-53 勝利 ③決勝 対神島 61-63 敗退 平成30年度 和歌山県高等学校バスケットボール秋季選手権大会 初戦敗退 ①対紀北工業 57-84 敗退、女子＝平成30年度 和歌山県高等学校総合体育大会バスケットボール競技会 初戦敗退 ①対市立和歌山 37-94 敗退 平成30年度 和歌山県高等学校バスケットボール新人大会紀南地区予選 第3位 ①対神島 60-83 敗退 ②対田辺 42-87 敗退 平成30年度 和歌山県高等学校バスケットボール新人大会 初戦敗退 ①対日高 82-103 敗退
バドミントン部 平成30年度 和歌山県高等学校総合体育大会バドミントン競技



の希望で決まった洋食コースは女性多数でした。メニューは、池信義幹事の挨拶・乾杯音頭により懇親会がスタートした。メニ

の部 男子団体＝ベスト4、男子シングルス＝ベスト8 清水怜央(3-4)、男子ダブルス＝ベスト4 清水(3-4)・平(3-5)、女子団体＝ベスト8 第65回近畿高校バドミントン選手権大会県予選会兼第47回全国高校選抜バドミントン大会県予選会(一次予選) 男子団体＝ベスト4、男子ダブルス＝ベスト8 内野(2-1)・大江(1-2)、女子団体＝ベスト4、女子ダブルス＝ベスト8 清水(2-1)・速水(2-4) 花田(2-3)・南(2-1) 平成30年度 和歌山県高校バドミントン新人大会 1部男子ダブルス＝ベスト8 内野(2-1)・大江(1-2) 堀(2-3)・矢熊(1-2)、1部女子ダブルス＝ベスト8 清水(2-1)・速水(2-4)、1部女子シングルス＝ベスト8 速水(2-4)、2部男子シングルス＝ベスト8 室崎(1-4)

平成30年度 県高校総体バレーボール大会(6/2～6/4) 予選リーグ 新宮－南部 1－2(19-25 25-19 18-25) 新宮－橋本 2－0(25-20 25-17) 予選リーグ通過、決勝リーグ 新宮－串本古座 2－0(25-21 25-20)、新宮－開胃 0－2(8-25 23-25) 結果 ベスト16 平成30年度 県高校選手権バレーボール大会(10/20～10/22) 予選リーグ 新宮－橋本 2－0(25-14 25-14) 新宮－近大新宮 1－2(21-25 28-26 24-26) 予選リーグ通過、決勝リーグ 新宮－和歌山商業 0－2(12-25 12-25) 結果 決勝リーグ初戦敗退 平成30年度 県高校バレーボール新人大会(1/13～1/14) 予選リーグ 新宮－橋本 2－1、決勝リーグ 新宮－和歌山商業 2－0 新宮－和歌山南陵 0－2 ベスト16 県総体結果報告 男子団体＝県ベスト8→近畿へ、女子団体＝県ベスト8→近畿へ 県新人戦報告 男子個人＝坂本・杉本・ペア 県ベスト32、女子個人＝堀・川端・ペア 県ベスト32、深瀬・畑中・ペア 県ベスト32、女子団体＝県4位

総合体育大会(6月)/男子個人＝塚 賀員(7位)、女子団体＝Aチーム 佐野通主、竹内裕賀、嶋田紗帆、眞砂彩花、土屋智美(2位)、女子個人＝竹内裕賀(2位)、嶋田紗帆(3位)、佐野通主(4位) 近畿大会(7月 奈良)/女子団体＝Aチーム 佐野通主、竹内裕賀、嶋田紗帆、眞砂彩花、土屋智美(ベスト8)、女子個人＝佐野通主、竹内裕賀(予選通過)、嶋田紗帆 インターハイ出場/女子個人＝竹内裕賀(予選落ち) 選手権大会(8月)/女子団体＝Aチーム 竹内裕賀、片岡真菜、河野芽唯(優勝)、女子個人＝河野芽唯(4位)、片岡真菜(5位)、松本唄海(6位) 新人戦(10月)/男子団体＝Aチーム 宮本泰成、安井和海、塚 大地(4位)、男子個人＝塚 大地(2位)、女子団体＝Aチーム 竹内裕賀、片岡真菜、河野芽唯(3位)、Dチーム 阿万 佐也奈、上原千奈、清嶺地 友奈(5位)、女子個人＝竹内裕賀(3位)、大槻叶羽(10位) 選抜近畿大会(11月 姫路)/男子団体＝Aチーム 宮本泰成、安井和海、塚 大地、男子個人＝塚 大地(6位)、女子団体＝Aチーム 竹内裕賀、片岡真菜、河野芽唯(予選通過)、女子個人＝竹内裕賀(予選通過) 選抜全国大会(12月 岡山)/男子個人＝塚 大地(予選落ち)

平成30年度 和歌山県高等学校総合体育大会卓球競技の部 新宮高校卓球部 大会結果 以下近畿大会出場種目・選手及び予選結果一覧 学校対抗(団体戦)＝男子 3位、女子 準優勝、ダブルス＝男子 ベスト8 風間(2-3)・南(2-5)、ベスト16 岡崎(3-4)・下浦(3-3)、女子 ベスト8 上山(3-2)・杉山(3-2)、ベスト16 尾崎(2-5)・尾中(2-3)、シングルス＝男子 ベスト8 風間、岡崎、ベスト16 下浦、清水、女子 ベスト8 上山、杉山、ベスト16 尾崎、尾中

剣道部 県下高校剣道学年別選手権大会【男子1年生(級)の部】第2位 下口直輝(1-3)

空手道部 平成30年度 和歌山県総合体育大会空手道競技の部 男子団体組手＝1回戦敗退、女子団体組手＝準優勝、女子個人組手＝第3位 大矢未来(2-3) 第32回和歌山県高等学校空手道選手権大会 男子団体組手＝第3位、女子団体組手＝第3位、女子個人組手-59kg＝準優勝 大矢未来(2-3)、女子個人組手-59kg＝第3位 秦 優那(1-3) 平成30年度 空手道新人大会 男子団体組手＝第3位、女子団体組手＝第3位、男子団体形＝準優勝、女子団体形＝第3位、男子個人組手-68kg＝第3位 谷口智康(2-3)、女子個人組手-59kg＝第3位 秦 優那(1-3)

平成30年度文化クラブ成績

美術部 和歌山県総合文化祭ポスター原画コンクール＝優秀賞 安間晴香(3-4) 読書感想画中央コンクール審査会 指定読書の部＝最優秀賞 松岡和也(2-5) 優良賞 向山修太(2-5)、敷地ちる(1-5) 自由読書の部＝優良賞 高田千夏(1-2)
吹奏楽部 県吹奏楽コンクール大編成部門＝銀賞 県アンサンブルコンテスト予選＝金賞・地区代表2団体 三輪崎小学校・下里中学校・健人大学講座 訪問演奏など
家庭部 UME－1フェスタ 第4回グルメ甲子園＝エントリー

校歌合唱に感激

第七回(昭和三十年)卒業生同窓会

森村誠一氏より署名本寄贈

出席者五十八名の卒業から六十三年間の思いを込めた歌声は地上百メートルの大阪ハルカスの会場から、四月の風に乘って南紀の母

校の空へと流れた。「傘寿を過ぎたこの歳になり同級生と一緒に校歌を歌えるなんて：感激です」と涙声で語る女性同級生の姿が印象的

だった。平成三十年四月二十五日、第七回卒業生昭和三十年の同窓会が大阪アベノ・ハルカスの二十階にある大阪マリオットホテルで約三十年ぶりに開催された。正午に司会者の青木良三幹事の「開会します」の言葉と共にカーテンが開かれ、眼

ス、ホテル自慢の料理を味わいながら、長年のご無沙汰を詫び旧交を温め近況をしばし語りあった。宴の途中から自己紹介に移り卒業から今日までの生きざまの一端をそれぞれに淡々とまた熟っぽく語る顔は十八歳の青春の日から傘寿過ぎまでの歳月が刻み込まれた良いお顔でした。最後に信國欽司幹事より同級生の現状などの詳細報告があった。協地駿君のリード・玉置

(前地) 幾久栄さんのピアノ伴奏で思い出の「校歌」と「ふるさと」を合唱し写真撮影。次いで同級生の森村(石橋)千鶴子さんのご主人の著名作家である森村誠一氏より寄贈された署名入り初版文庫本が抽せんにより三十二名に贈られた。午後三時、汐崎光君の閉会挨拶・発声により万歳三唱し近い日の再会を約してお開きとなった。散会後は地上三百メートルのハルカ

ス展望台からの眺めやサークル仲間とのお茶会などさまざまなに晩春の一日を楽しむ友との名残を惜しんだ。最後に前記の幹事をはじめ受付などをお願いした山縣のり子(幹事)、近藤隆、上松京子、山口禧子、辻本三代子、平田敬子さんそして全国よりご参加頂いた同窓生の皆さまのご協力に感謝致します。(信國 記)

彩雲祭で展示・講演と食物バザーを開催

同窓会では、九月七日(金)と八日(土)に行われた新宮高校彩雲祭の同窓会企画として、新高の第十六回卒業生であり、現在、佐藤春夫記念館の館長である辻本雄一氏の展示と講演会を開催しました。図書館での展示とスライドを用いた講演

会とともに、多くの方にご来場いただきました。また、昨年に引き続き、三年生を中心に開催される食物バザーにも出店し、キヤラメルポップコーンを販売しました。たくさんの方にお買い上げいただき、予定していた数量を完売することができました。

平成二十九年年度

一般社団法人新中会

第六回総会開催される

一般社団法人新中会は、八月十八日(土)午前十時三〇分より、ホテル浦島において、夏山会長となつて最初の総会を開催した。

来賓には、前田新宮高校校長、高須新宮高校同窓会担当、矢口新宮三校同窓会、関西支部代表をお迎えし、平成二十九年第六回総会並びに懇親会が開催された。総会は、総会員一三七名、本人出席二六名、委任状出席八七名、合計出席数一三三名で会員総数の過半数を超え決議が成立する旨、西川副会長より報告があり、新宮中学校の校歌を全員で斉唱して始まった。最初に物故会員に対し黙祷を捧げ、夏山晃一会長の挨拶があった。その中で特に最近のスポーツ界の現状は憂えるものがあるが、その中にあることも本校出身の9連覇を成



し遂げた帝京大学ラグビー部岩出監督の指導方法がNHKでも放送され、異彩を放っている旨の紹介があった。次いで来賓の紹介があり、夏山会長が議長となつて議事に入った。第一号議案の平成二十九年事業報告を西川副会長から毎年実施している行事等について説明があった。その中で特に本年は新宮高校一年生の総合的な学習の時間において、自然科学グループが新中山のフィールドワークを実施したとの報告があった。第二号議案の決算報告を西川副会長が説明し、また辻監事より監査報告がありそれぞれ満場一致で承認可決された。第三号議案平成三十年度の事業計画については、当法人の二本柱である新中山の整備事業と、磐盾奨学金の運営に重点をおいた計画となつて

※卒業生は、同窓会会員です。

第九回生同窓会開催

平成30年6月24日 ホテル浦島にて

先般、六月二十四日、我々新宮高校第九回生同窓会を、勝浦ホテル浦島で開催いたしました。年齢八十を迎え、傘寿の祝いをかねて各地より六十六名が参集しました。その内一部有志が那智大社で祈念のお祓いを頂きました。地元は勿論、関西、東京、関東、遠方では福岡在住の前山直子さん、また、帯広在住の山本博くんからは参加できないが、代わり



に奥様特製のクッキーを差し入れて頂いたり、皆さんの協力により大いに盛り上がりました。宴半ばにして恒例の高橋もんちゃんの間奏舞が一段と花を添えてくれました。みなさん、夜の更け行く事も忘れて昔話に花を咲かせたことは言うまでもありません。小生も負けずにラテン音楽で盛り上げようと打楽器ボングを持参しましたが、会場の音響設備が悪く断念しました。誠に残念でした。

(幹事代行 青木英輔)



一般社団法人新中会

山神祭(新中山神社)を斎行

一般社団法人新中会(会長 夏山晃一)は、恒例の「山神祭」を十一月十七日



午前十時より、南檜枝の新中山神社において斎行した。当日は、心配された天候も次第に回復し予定通り斎行できた。

山神祭は、祭主に阿須賀神社の西宮司にお願いし、山の恵みに感謝し、木々の成長、防災祈願が行われた。新宮高校からもご多忙の中、宇戸教頭先生、定時制の辻教頭先生が出席いただき心から感謝を申し上げます。当日の出席者は、夏山会長、西川副会長、小野理事、原野理事、田阪理事、和田理事、水野理事、辻監事、濱崎理事、堺理事、南理事、中谷理事ほか特別参加の国見様と十五名の出席であった。

平成三十年度

関東新中会総会

岐阜大学名誉教授、岐阜市民病院心不全センター長

湊口信也氏(新高二十三回卒)の講演

「Muse細胞を用いた再生医療」について

平成三十年十一月二十五日(日)午後十二時より、ホテルアルカディア市ヶ谷(私学会館)にて平成三十年度関東新中会総会を開催しました。

天候にも恵まれ、五十名が参加して行われた総会には、大前幸也(新高八回卒)の司会のもと、奥野幸導(新中四十一回卒)先輩の挨拶で開会され、夏山晃一新中会会長、矢口純一新中会関西支部代表、前田成穂新宮高等学校

校長より祝辞、高須事務局長から新宮高校の近況報告が行われました。次いで、亡くなられた方々に対し黙祷を捧げたのち、会計報告が承認されました。今年度は、岐阜大学名誉教授、岐阜市民病院心不全センター長の湊口信也氏(新高二十三回卒)による「Muse細胞を用いた再生医療」について講演をして頂きました。「Muse細胞」とは、トカゲの尻尾が切れても再生されるような再生細胞の一種です。

〈来賓〉夏山晃一、矢口純一、前田成穂、高須崇

〈講師〉湊口信也

〈新中卒業生〉奥野幸導

〈新高卒業生〉平岡誠子

〈新高卒業生〉小池忠一、赤根盛男、角隆平、森弘明、後呂岩平、田島宏、谷上千雅司、米山万寿子、丸山富子、櫻井資郎、漁野宏和、上堀真理、玉置幾久栄、野村和子、大前卓也、岸野平子、中村和郎、横山知子、川崎まゆみ、山田殖保、青木英輔、岸周雄、大下勝巳、網野宏彦、小久保泰宏、南和文、前川清、後呂真次、植松繁雄、荻野雅子、加藤紀子、西雅幸、河原井秀子、清見美津子、中村智子、上村あや子、國見一郎、倉本秀彦、國見京子、坂本広美、松田稔、西哉素史、浦本教司

〈学生〉中岸真由、清原汐莉



平成30年度関東新中会総会 2018年11月25日 於 アルカディア市ヶ谷(私学会館)

新高第二十九回卒平成最後の還暦記念同窓会 旧友と再会、青春の思い出を謳歌

百八十四名が「かつうら御苑」に集う

平成最後の還暦同窓会(昭和五十二年三月卒業)が一月二日、かつうら御苑で開催された。集合写真を撮影の後、開会前に二十六名を追悼して黙祷を行った。司会進行は五組の河邊(尾子)さんと九組の山本(中)さんが行い、今回の実行委員会を代表して十組の國見君が挨拶を行った。卒業式の思い出を当日は遅刻し、卒業生席には座れず、在校生席で見守って、同級生を送り出したとの秘話を交え当時のことを懐かしく思い出しながらの挨拶であった。続いて来賓の夏山同窓会長から、この会に参加されている方は故郷を離れておられる方が多いと思います、故郷への思いを慈しんで貰いたいとの祝辞をいた

だき、乾杯へと移った。昨年五月に突如として那智勝浦町長になった八組の堀君が「那智勝浦町へふるさと納税を」との一言を添えて、乾杯の音頭を行った。クラスメイトとの談笑が続き、昔懐かしい写真のスライドショーが旧校歌の曲と共に流された。その後ご出席いただいた三名の恩師への花束贈呈があり、辻本先生、瀧野先生、崎久保先生より祝辞をいただいた。還暦同窓会をするに当たり実行委員会を四回行い、準備作業や当日の出し物を協議した。当日はスライドショーの上映と懐メロライブをすることにした。懐メロライブのメンバーは一組高橋(中根)朱美さん、一組小屋敷力君、四組辻孝

史君、四組米本正史君の四名で構成、グループ名を「ATTMO」と決定、大晦日に音合わせを行うなどとし、「心の旅、木綿のハンカチーフ、おもかげ色の空、卒業写真」の四曲を披露。高橋さんの美声にうっとり、曲の終わりに皆で大合唱となった。

旧友との再会にスマホを片手にした情報交換の風景が延々と続いた。最後に実行委員会からの連絡を坂本が行い、旧校歌を皆で熱唱しお開きとした。その後、各々が二・三・四次会へ。当日の様子をDVDに収録し、集合写真と共に参加者全員に発送した。楽しいひとときを過ごすことができました。ありが



1組 2組 3組 5組



4組 6組 7組 8組



9組 10組 11組 土木科 建築科

同窓会に寄付

平成三十一年一月二日(水)に、かつうら御苑にて第二十九回卒業生の百八十四名が参加して、平成最後の還暦同窓会が開催されました。その代表である野尻政典さんと川合恵介さん、國見一郎さん、坂本寿志さんが平成三十一年一月三十日(水)に来校され、余剰金と会場で集まった募金を新宮高校同窓会に贈呈されました。



“ふるさとの友と語ろう” 新宮三校合同関西同窓会総会 — 好評 紀州物産品抽せん会 —



旧制新宮中学校・新宮高等女学校



新宮高等学校

世代を超えてふるさとの友と語ろうをコンセプトとして実施されている新宮三校(新宮中学・新宮高女・新宮高)合同関西同窓会の平成三十年度総会が、五月二十九日に六十名が参加し、ホテル阪神のクリスタル・ルームで開催された。

第三十九回卒業生同窓会

平成三十一年一月二日

平成三十一年一月二日に、第三十九回卒業生同窓会が、串本ロイヤルホテル(一階ロイヤルホール)にて開催されました。池田稔夫さんの司会で進行し、平田智也実行委員長の開会の挨拶後、中谷剛先生の乾杯の発声で宴が始まりました。高校時代のエピソードや思い出話に花が咲き、中には当時に戻ったかのように大はしゃぎをしている同窓生も見られました。出席された中谷剛先生、小淵伸二先生、瀧野秀二先生、

十一時三十分には坂口三身幹事・新宮高六回生の司会により開会。同窓会の物語者に黙祷を捧げ、矢口純一(新中四十三回卒)・新宮三校合同関西同窓会代表が代表挨拶を行った。続いて来賓の夏山晃一新中会長・新宮高校同窓会長より祝辞が

ました。二次会については、各クラスで行われ、こちらも大いに盛り上がったとのことでした。この日のために何度も打ち合わせを行い、お世話いただいた実行委員各位、またご協力いただきましたすべての皆さま、本当にありがとうございました。新宮高校第三十九回卒業生の今後のますますのご活躍をお祈りし、また次の同窓会を励みにそれぞれ道で元気に過ごしていきましょう。



あり、その中で新宮高校の現状に触れ「：少子化により今後生徒の減少が続く予想され、学校の活力の減退が懸念されるので、将来に向けてさまざまな加わった宮前文代さん(新高女三十四回卒)の年齢を感じさせない美声に満場うっとり。三校の校歌斉唱・写真撮影と進み、山川昭吾さん(新宮中四十一回卒)の閉会挨拶と音頭により万歳三唱し次回の再会を約してお開きとなった。(文責 信國)

続いて宇井規さん(新宮中四十一回卒)の乾杯音頭により懇親会が始まり、紀州弁が飛び交う中で、出身小・中学校が記載された出席者名簿を確認しながら世代を超えて交流する人の姿も各所に見受けられた。宴の途中で例年好評の紀州物産品抽せん会が始まり勝浦漁港直送まぐろ、那智黒鮭に加えて坂口三身さんお手製のネックレスが出品され当選者の歓声と拍手が会場に響いた。この後は恒例の合唱、脇地駿さん(新宮高七回卒)のリード・玉置(前地)幾久栄さん(新宮高七回卒)のピアノ伴奏で「春の小川」「海」「みかんの花咲く丘」「夏の思い出」ラストは「ふるさと」を全員で合唱。途中からリードに加わった宮前文代さん(新高女三十四回卒)の年齢を感じさせない美声に満場うっとり。三校の校歌斉唱・写真撮影と進み、山川昭吾さん(新宮中四十一回卒)の閉会挨拶と音頭により万歳三唱し次回の再会を約してお開きとなった。